

平成29年度市民活動シンポジウム開催報告

平成30年1月17日(水)、平成29年度市民活動シンポジウム「『町会』『企業』『NPO』に聞く!～忙しくてもできる地域活動～」を開催しました。
「一緒に何かやってみたい!」そんな思いを実現するための第1歩として、出会ってお互いを知る機会となりました。



一「町会」「企業」「NPO」の立場から地域との関わりについてお話をいただきました

パネリスト ······



北上野二丁目町会青年部
おかだ ゆういちろう

岡田 勇一郎 さん

会社経営のかたわら北上野二丁目町会青年部の活動を行っています。「活動するからには楽しく」。をモットーに、町会活動に地域の若い人や企業を巻き込む方法を地域の資源を使い、みんなで楽しく考えて実行している。

ある人の「(地域を)活性化するためには“ヨソ者”“バカ者”“若者”が必要」という言葉を聞き、「バカ者と若者はいるけど、ヨソ者が…」と思っていたところに関西から転居してきた方が青年部に入会してくれました。子供の頃から見ていて当たり前になっている景色も、新鮮な視点から見ると新たな気づきや発見がたくさんありました。

昔から住んでいる人にとっては「町会に入って当たり前。やって当然」かもしれません、「まちが好きだからやっているんです!」と伝えたいです。

障害のある次男のことを家族で考えたときに「親亡き後、次男の住む場所を、長男の負担にならないように用意したい」という結論に至りました。「地元で子供の生活に寄り添いたい」という想いがある中で、数字へのこだわりを活かす焙煎業や作業を単純化できる焙煎機と出会いました。現在は、施設外就労支援への取り組みを行っており、将来的には「縁の木」の店舗を核に、「障害者も得意な仕事、やりたい仕事を選べる環境」を実現したいと考えています。

以前で珈琲豆を焙煎・卸売。店舗での障害者の就労支援や自社の珈琲と合わせて作ったお菓子などの販売を通じて、団体の売上UP、企業の社会貢献に繋がる提案を行っている。



NPO法人
セカンドハーベスト・ジャパン

たなか いるま

田中 入馬 さん

日本初のフードバンク(食料銀行)として、充分に食べられるが様々な理由で廃棄される食品を引き取り、必要な人たちに届ける活動をしている。

現在事務所のある浅草橋は企業として最初に寄付してくださった会社がある地域です。

食品を集めて提供するパントリー活動では、企業約1,300社から寄付があります。個人からの寄付も1日20~30箱届きます。お金を集めるのは大変ですが、食べ物は集まりやすく、企業も参加しやすいのではないかと思います。地域の方でボランティアできる方にはぜひ来ていただきたいです。

また、身近で困っている方に伝えてほしい。このような活動している団体があることを知っていてほしいと思います。



交流会ではそれぞれの立場から意見が交わされました



パネリストやグループの方の話を聞いて台東はすごく魅力のある街、住んでいる人も魅力があると感じました。



「パネリストの方のお話がすごくすてきでした!もっと地域とつながりたいと思いました。」



「まだ地域とつながっていないので、お祭りをきっかけにつながりをつくりていきたい。」

コーディネーター ······



東京ボランティア・市民活動センター
かわむら あきこ

河村 晓子 さん

飯田橋駅のすぐ近くにあり、東京全域での企業&社員の社会貢献活動の支援を担当。

東京D&Iプロジェクト*

当日、会場では東京D&Iプロジェクトの一環として、区内の障害者施設にご協力いただき、試食&販売展示のブースを設けました。

* 社会福祉法人 東京都社会福祉協議会 東京ボランティア・市民活動センター(TVAC)が展開している多様な障害のある方々の社会参加を促進するために、企業と障害関係団体とが連携して取り組む「企業CSR等連携促進事業」のこと。

D=Diversityは「多様性」、I=Inclusionは「包含」を意味し、多様な人々が一緒に協力しながら暮らしていく社会を目指す。

《参加協力団体》社会福祉法人 つばさ福祉会/NPO法人 つなぐ台東/NPO法人 えん



つばさ福祉会/さをり織り・革小物 展示販売



つなぐ台東/クッキー・パン・作品 展示販売



えん/石鹼・小物 展示販売

台東ボランティア・地域活動サポートセンターでは、地域活動・社会貢献活動に取り組む団体や企業、これから地域活動に参加したい方を応援しています!

「こんな団体と一緒にやってみたい」「得意なことを活かして地域活動したい!」など、台東ボランティア・地域活動サポートセンターまでご相談ください。

